様式第２号（第１０条関係）

会議記録

附属機関の名称	熊谷市環境審議会
開催日時	令和８年１月２１日（水）午後１時３０分～午後２時４０分
開催場所	熊谷市江南庁舎　３階　大会議室
出席者	【委員　計１２名】 須田知樹委員（会長）、新井千明委員（副会長）、 小鮒賢二委員、田中純一委員、江原仁委員、依田英世委員、 出井哲司委員、八木伸一委員、後藤素彦委員、青木登喜代委員、 髙橋孝子委員、姉﨑京子委員 【事務局　計８名】 環境部　野村部長 環境政策課　本堂課長、杉浦副課長、 清水主任、神山主事 環境推進課　遠藤課長 第一水光園　江原所長 環境美化センター　新島所長
傍聴人	なし
問い合わせ先（所管課）	環境部環境政策課（江南庁舎２階） ℡　048-536-1547（内線 203）
内容	【議題】 １　委嘱状交付について ２　熊谷市環境白書（令和７年度）（案）の報告 ３　熊谷市生活排水処理基本計画（案）の報告 【内容】 １　委嘱状交付について 委員へ委嘱状を交付 ２　熊谷市環境白書（令和７年度）（案）の報告 各委員からの意見は以下のとおり。 （１）幅広く、細かい内容が多いため、一般市民が読んでわかりにくい印象を持った。どこが重要な内容なのか、可能であれば概要版を作成してほしい。

	（２）下水道未接続世帯数は、いつ頃調査を行っているのか。 【回答】所管（下水道課）に確認する。 （３）路上喫煙状況調査における散乱吸殻本数が、前年度と比較して大幅に増えていたが何か原因はあるのか。 【回答】調査実施日に、いつもより多くの吸殻が見つかったからだと思われる。 （４）年表記の和暦、西暦、半角、全角について書き方を統一した方がよい。 （５）「市民１人１日当たりのごみ排出量」の目標値を定めて様々な取り組みを行っているが、熊谷市の１人当たりのごみ排出量は、埼玉県内で２番目に多く、少しでも減らして行く必要がある。 （６）ダンボールコンポストに関する取り組みを行っているが、削減効果が分かるよう、その成果について公表してほしい。 （７）p.83 の「令和６年度字別クビアカツヤカミキリ発生状況」マップについて、凡例を追加したり白黒印刷でも見やすくしたりしてほしい。 （８）ムサシトミヨ生息数調査の令和６年度における生息数と放流数が同じであるが、誤りではないのだろうか。 【回答】表記のとおりで間違いはない。 （９）p.81 の「地域における取組」において、校区連絡協議会の取組を削除するのではなく、実施されている取組を現状の課題も含めて記述した方が良いのではないだろうか。 （１０）市で実施しているクビアカツヤカミキリ防除に関する取組が、どのような成果・効果として表れているかを記載すべきだと考える。 （１１）地産地消について、農業分野、学校給食センターと連携をより強めてほしい。それに関連して、給食食材で使用されている地場産物の使用量は上昇傾向にあるかどうか教えてほしい。 【回答】所管（教育総務課）に確認する。 （１２）自治会内のごみ集積所を移動させることはできるのか。

	家の近くにごみ集積所が無く、ごみ出しを負担に感じる高齢者もいる。 【回答】世帯数などの条件があるが、自治会内で話し合っていただいた上で、市に相談していただきたい。 （１３）星川の休憩スペースにごみ集積所があるが、カラスが集積所を荒らして、景観的に良くないように思う。 （１４）リサイクル活動推進奨励金の金額を増やしてほしい。 ３　熊谷市生活排水処理基本計画（案）の報告 各委員からの意見は以下のとおり。 （1）人口減少とインフラ老朽化が進む中で、生活排水処理方式の統合及び再編については、非常に重要な課題となってくると思う。 （2）合併処理浄化槽への転換をより一層推進していくべきだと考える。